

付録 2 アンケート票

※本報告書に合わせアンケート票の表現を「セキュリティ」へ統一しております

スクリーニング調査
あなたご自身についてお伺いします。

- SC1. あなたご自身は、お勤め先の組織（会社、団体、法人など）の規模、IT 利用状況（ハードウェアの導入台数、会社の IT に関する方針など）を、どの程度把握されていますか。当てはまるものを一つお選びください。
1. 把握している
 2. まあ把握している
 3. 把握していない
 4. 仕事はしていない
- SC2. あなたご自身は、お勤め先のセキュリティへの取り組み状況を、どの程度把握されていますか。当てはまるものを一つお選びください。
1. 把握している
 2. まあ把握している
 3. 把握していない
- SC3. あなたご自身は、お勤め先の DX（デジタル技術を利用した経営改革、新領域への進出など）への取り組み状況を、どの程度把握されていますか。当てはまるものを一つお選びください。
1. 把握している
 2. まあ把握している
 3. 把握していない
- SC4. あなたご自身は、お勤め先における IT ハードウェア・ソフトウェア導入に関して、どう関与していますか。当てはまるものを一つお選びください。
1. 実質的な決定権を持っている
 2. 実質的な決定権を、部分的に持っている
 3. 決定権は持っていないが、選定や導入に関与している
 4. 関与していない
- SC5. あなたの勤め先の従業員数（正規従業員数と非正規従業員（パート・アルバイトなど）の合計）は何人ですか。おおよそで構いませんので人数をお答えください。
- SC5_1：正規従業員人数 () 人
- SC5_2：非正規従業員人数 () 人
- 合計 () 人
- SC6. お勤め先でのあなたの仕事、もしくは所属している部署はどこですか。最も近いものを一つお選びください。
1. 経営者・役員
 2. 社業全般（社長室・経営企画など）
 3. 総務系（経理・財務・法務・人事）
 4. IT システム
 5. 購買（購買・資材など）
 6. 製造
 7. 広報・調査・マーケティング
 8. 営業・販売
 9. 研究・開発
 10. その他（具体的に：)

SC7. あなたのお勤め先の業種は何ですか。最も近いものを一つお選びください。

1. 農林・水産・鉱業
2. 建設業
3. 製造業
4. 電力・ガス・水道業
5. 通信業（電気通信、放送など）
6. 情報サービス業（情報処理、映像・音声・文字情報制作など）
7. 運輸・倉庫業
8. 商業（卸売業、小売業）
9. 金融・保険業
10. 不動産業
11. サービス業（新聞、出版、映画、文教、病院、医療、社会福祉、保健衛生、廃棄物処理業など）
12. 教育・学習支援
13. 官公庁・自治体
14. その他（具体的に： _____)

本調査

お勤め先の組織（会社、団体、法人など）のプロフィールについてお伺いします

F1. あなたのお勤め先は資本系列上どの位置にありますか。最も近いものを一つお選びください。

1. 独立系
2. 企業の一般子会社
3. 特定の会社（企業グループ）向けの情報処理子会社
4. 持ち株会社

F2. あなたのお勤め先の所在地はどちらですか。当てはまるものを一つお選びください。

<47 都道府県>

F3. あなたのお勤め先の年間売上（収入）はどのくらいですか。当てはまるものを一つお選びください。

1. 100 万円未満
2. 100 万円以上、300 万円未満
3. 300 万円以上、1000 万円未満
4. 1000 万円以上、3000 万円未満
5. 3000 万円以上、1 億円未満
6. 1 億円以上、3 億円未満
7. 3 億円以上、10 億円未満
8. 10 億円以上、30 億円未満
9. 30 億円以上、100 億円未満
10. 100 億円以上、300 億円未満
11. 300 億円以上、1000 億円未満
12. 1000 億円以上、3000 億円未満
13. 3000 億円以上、1 兆円未満
14. 1 兆円以上
15. 不明

F4. あなたのお勤め先で社内 IT システムを担当している方は何人ですか。おおよそで構いませんので人数をお答えください。

F4_1 : 専任担当者 () 人

F4_2 : 兼任担当者 () 人

F5. あなたのお勤め先が利用しているパソコンは何台ですか。おおよそで構いませんので、機種別、OS 別に台数をお答えください。

F5_1 : デスクトップ PC

F5_1_1 Windows 11 () 台

F5_1_2 Windows 10 () 台

F5_1_3 他の Windows () 台

F5_1_4 Mac OS () 台

F5_1_5 Chrome OS () 台

F5_1_6 その他 OS () 台

F5_2：ノート PC

※キーボードを分離できるノート PC はタブレット端末に含めてください。

- F5_2_1 Windows 11 () 台
- F5_2_2 Windows 10 () 台
- F5_2_3 他の Windows () 台
- F5_2_4 Mac OS () 台
- F5_2_5 Chrome OS () 台
- F5_2_6 その他 OS () 台

F6. あなたのお勤め先が利用しているスマートフォンは何台ですか。おおよそで構いませんので、OS 別に台数をお答えください。

- F6_1 iOS () 台
- F6_2 Android () 台
- F6_3 Windows () 台
- F6_4 その他 OS () 台

F7. あなたのお勤め先が利用しているタブレット端末 (iPad、Surface など) は何台ですか。おおよそで構いませんので、OS 別に台数をお答えください。

- F7_1 iOS () 台
- F7_2 Android () 台
- F7_3 Windows () 台
- F7_4 Chrome OS () 台
- F7_5 Fire OS (Amazon) () 台
- F7_6 その他 OS () 台

F8. あなたのお勤め先が利用している物理サーバーは何台ですか。おおよそで構いませんので、OS 別に台数をお答えください。

- F8_1 Windows Server 2022 () 台
- F8_2 Windows Server 2019 () 台
- F8_3 Windows Server 2016 () 台
- F8_4 Windows Server 2012 () 台
- F8_5 他の Windows Server () 台
- F8_6 その他 OS (Linux など) () 台

F9. あなたのお勤め先の IT システム化の現在の状況はどのようになっていますか。以下の業務系それぞれについて、当てはまるものを全てお選びください。システム化していない場合、「システム化していない」をお選びください。

		システム化済み (クラウド-SaaS*利用)	システム化済み (クラウド-PaaS*利用)	システム化済み (クラウド-IaaS*利用)	システム化済み (オンプレミス*)	システム化済み (パソコン単体)	DaaS*を利用している	システム化していない
F9_1	フロントオフィス (営業、販売、サービス、サポート)	1	2	3	4	5	6	7
F9_2	ミドルオフィス (経営企画、リスク管理、広報、マーケティング)	1	2	3	4	5	6	7
F9_3	業種固有 (生産、開発、建設、輸送、倉庫、資産運用、インフラ運用)	1	2	3	4	5	6	7
F9_4	バックオフィス (総務、人事、IT など)	1	2	3	4	5	6	7

F10. お勤め先の情報システムに対する新規投資額、運用コスト、クラウドサービス（含むインターネットサービス）に支払う利用料についてお伺いします。

F10_1 お勤め先の今年度の情報システム新規投資額は、どのくらいですか。当てはまるものを一つお選びください。

1. 10万円未満
2. 10万円以上、30万円未満
3. 30万円以上、100万円未満
4. 100万円以上、300万円未満
5. 300万円以上、1000万円未満
6. 1000万円以上、3000万円未満
7. 3000万円以上、1億円未満
8. 1億円以上、3億円未満
9. 3億円以上、10億円未満
10. 10億円以上、30億円未満
11. 30億円以上、100億円未満
12. 100億円以上、300億円未満
13. 300億円以上、1000億円未満
14. 1000億円以上
15. 不明

F10_2 お勤め先の今年度の情報システム運用費用は、どのくらいですか。当てはまるものを一つお選びください。

1. 10万円未満
2. 10万円以上、30万円未満
3. 30万円以上、100万円未満
4. 100万円以上、300万円未満
5. 300万円以上、1000万円未満
6. 1000万円以上、3000万円未満
7. 3000万円以上、1億円未満
8. 1億円以上、3億円未満
9. 3億円以上、10億円未満
10. 10億円以上、30億円未満
11. 30億円以上、100億円未満
12. 100億円以上、300億円未満
13. 300億円以上、1000億円未満
14. 1000億円以上
15. 不明

F10_3 お勤め先の今年度のクラウドサービス（含むインターネットサービス）に支払う利用料は、どのくらいですか。当てはまるものを一つお選びください。

1. 10万円未満
2. 10万円以上、30万円未満
3. 30万円以上、100万円未満
4. 100万円以上、300万円未満
5. 300万円以上、1000万円未満
6. 1000万円以上、3000万円未満
7. 3000万円以上、1億円未満
8. 1億円以上、3億円未満
9. 3億円以上、10億円未満
10. 10億円以上、30億円未満
11. 30億円以上、100億円未満
12. 100億円以上、300億円未満
13. 300億円以上、1000億円未満
14. 1000億円以上
15. 不明

セキュリティへの取り組みについてお伺いします。

- Q1. セキュリティへの取り組み状況はいかがですか。当てはまるものを一つお選びください。
1. セキュリティ対策実施済み
 2. セキュリティ対策実施予定
 3. セキュリティ対策未実施
- Q2. セキュリティに関する要請（決められたセキュリティ基準への対応依頼）元はどこですか。当てはまるものを全てお選びください。要請を受けていない場合、「要請なし」をお選びください。
1. 業界団体
 2. 取引企業（サプライチェーン）
 3. 顧客
 4. 行政機関・役所
 5. 販売店・ベンダー
 6. グループ企業（親会社など）
 7. その他（具体的に： _____)
 8. 要請なし
- Q3. 対策済み、または対策予定のセキュリティ対策のきっかけは何ですか。項目ごとに最も当てはまるものを一つだけ選んでください。未対策で対策予定していない、セキュリティ対策実施済みの場合、「予定なし」をお選びください。

		ガイドライン※準拠	自社で必要性を感じた	販売店・ベンダーから要請された	他団体・取引先が実施している	予定なし
Q3_1	ログ管理・保存（一定期間の保持および削除など）	1	2	3	4	5
Q3_2	データ保護（顧客データや機密情報などの適切な保護）	1	2	3	4	5
Q3_3	脆弱性管理（脆弱性の定期的なスキャンやパッチ適用の実施、セキュリティアップデートの迅速な適用など）	1	2	3	4	5
Q3_4	ユーザー認証・アクセス管理（従業員のアカウント管理や適切なアクセス権限の設定、強力なパスワードポリシーの適用など）	1	2	3	4	5
Q3_5	物理的セキュリティ（PCの鍵付きロッカーへの保管など）	1	2	3	4	5
Q3_6	ネットワークセキュリティ（ファイアウォールの導入、侵入検知システムの利用など）	1	2	3	4	5
Q3_7	バックアップと復旧（データの定期的なバックアップと災害時の迅速なデータ復旧策の導入）	1	2	3	4	5

Q4. 社内データ保護のために、導入済み、または導入予定のセキュリティ製品・サービスは何ですか。当てはまるものを全てお選びください。

- 1. Active Directory (PC 利用ユーザーの ID 管理、アクセス権)
- 2. 多要素認証製品 (PC ログイン時の指紋や顔認証)
- 3. 証明書認証製品 (リモートアクセス、有線・無線 LAN の接続を制限)
- 4. ネットワークアクセス制限製品 (必要な通信のみ許可)
- 5. EPP 製品 (従来型 PC ウイルス対策、未知の脅威に対する次世代型 PC ウイルス対策)
- 6. EDR 製品 (PC への攻撃を監視、発見、対処するウイルス対策)
- 7. ネットワーク型ウイルス対策製品 (Web 閲覧によるウイルス感染を防止する対策)
- 8. URL フィルタリング製品 (業務に関係ない Web 閲覧禁止)
- 9. UTM 製品 (インターネット出口を脅威から複合的に防御する対策)
- 10. デバイス制御製品 (USB 禁止、印刷制限等、データの持ち出し対策)
- 11. メール誤送信防止製品 (メール送信を一定時間保留するなど)
- 12. バックアップ製品 (サーバーのデータを別媒体へ退避)
- 13. ログ管理・保管 (PC 操作履歴の保管、不正行為を抑制)
- 14. その他 (具体的に:)

Q5. インターネット上のデータ保護のために、導入済み、または導入予定のセキュリティ製品・サービスは何ですか。当てはまるものを全てお選びください。

- 1. IDaaS (クラウド経由で ID 管理・認証/認可・シングルサインオン)
- 2. CASB (クラウドサービスの利用を可視化、制御)
- 3. DLP (クラウドサービスの重要データ漏洩を防御)
- 4. スпамメール対策 (受信時の迷惑メールを防御)
- 5. ウイルス対策 (受信時のウイルス付きメールを防御)
- 6. サンドボックス製品 (メール受信時の未知のウイルスを検知)
- 7. その他 (具体的に:)

Q6. セキュリティ対策の実施状況はいかがですか。最も当てはまるものを一つお選びください。

		正しく運用されており機能している	運用されているが機能していない	運用されていない
Q6_1.	セキュリティルールやポリシーの整備	1	2	3
Q6_2.	セキュリティ教育・トレーニングプログラムの定期的実施	1	2	3
Q6_3.	セキュリティインシデントへの対応体制 (インシデント発生時の報告・対応プロセスの明確化) 整備	1	2	3
Q6_4.	セキュリティ対策の定期的評価や監査 (外部の第三者機関によるセキュリティ診断・ペネトレーションテスト)	1	2	3
Q6_5.	生成 AI のガイドライン整備 (利用ルールの作成や監視・リスク管理体制の整備)	1	2	3

Q7. 把握しているセキュリティ脅威（情報セキュリティ 10 大脅威 2024※より）と、対策の実施状況について、項目ごとに当てはまるものをお選びください。

	セキュリティ脅威	把握しており対策している	把握しているが対策をしていない	把握していない
Q7_1	ランサムウェアによる被害	1	2	3
Q7_2	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃	1	2	3
Q7_3	内部不正による情報漏えい等の被害	1	2	3
Q7_4	標的型攻撃による機密情報の窃取	1	2	3
Q7_5	修正プログラムの公開前を狙う攻撃（ゼロデイ攻撃）	1	2	3
Q7_6	不注意による情報漏えい等の被害	1	2	3
Q7_7	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加	1	2	3
Q7_8	ビジネスメール詐欺による金銭被害	1	2	3
Q7_9	テレワーク等のニューノーマルな働き方を狙った攻撃	1	2	3
Q7_10	犯罪のビジネス化（アンダーグラウンドサービス）	1	2	3

Q8. 前問で示したセキュリティ脅威に関するインシデントが発生した際、想定される相談先はどこですか。当てはまるものを全てお選びください。

1. 業界団体
2. 取引企業（サプライチェーン）
3. JPCERT/CC
4. 警察
5. 監督官庁
6. 販売店・ベンダー
7. グループ企業（親会社など）
8. その他（具体的に： _____）

Q9. セキュリティ対策を検討する際に、どのような課題に直面していますか。

1. コスト、経済的な制約
2. リソース不足
3. 他の優先事項
4. 経営陣のセキュリティへの関心や意識
5. 専門知識や技術的な要件の不足
6. 適切なベンダーや専門家がない
7. 組織の文化や風土
8. ビジネス的なメリットやペナルティがない
9. 何から対策に取り組むべきかが分からない

Q10. 今年度のセキュリティに対する投資額はどのくらいですか。当てはまるものを一つお選びください。

1. 10万円未満
2. 10万円以上、30万円未満
3. 30万円以上、100万円未満
4. 100万円以上、300万円未満
5. 300万円以上、1000万円未満
6. 1000万円以上、3000万円未満
7. 3000万円以上、1億円未満
8. 1億円以上、3億円未満
9. 3億円以上
10. 不明

DX への取り組みについてお伺いします。

Q11. DX にどのように取り組んでいますか。当てはまるものを一つお選びください。

1. 取り組んでいる
2. 取り組み予定である
3. 必要と考えているが、取り組めていない
4. 必要と考えていない

Q12. DX 推進に取り組みはじめてからの経過年数について、当てはまるものを一つお選び下さい。

1. 1 年未満
2. 1 年以上～3 年未満
3. 3 年以上～6 年未満
4. 6 年以上～10 年未満
5. 10 年以上

Q13. 「DX に取り組む、または取り組もうとする」背景にある解決したい経営課題は何ですか。当てはまるものを三つまでお選びください。

1. 収益性向上
2. 人材の確保・育成
3. 売り上げ・シェア拡大
4. 生産性向上
5. 事業基盤の強化・再編
6. 新製品・新サービス・新事業の開発
7. 従業員満足度の向上
8. SDGs 対応
9. グローバル化
10. その他（具体的に：

)

Q14. 今年度の DX 関連費用は、どのくらいですか。当てはまるものを一つお選びください。

1. 10 万円未満
2. 10 万円以上、30 万円未満
3. 30 万円以上、100 万円未満
4. 100 万円以上、300 万円未満
5. 300 万円以上、1000 万円未満
6. 1000 万円以上、3000 万円未満
7. 3000 万円以上、1 億円未満
8. 1 億円以上、3 億円未満
9. 3 億円以上、10 億円未満
10. 10 億円以上、30 億円未満
11. 30 億円以上、100 億円未満
12. 100 億円以上、300 億円未満
13. 300 億円以上、1000 億円未満
14. 1000 億円以上
15. 不明

Q15. DX 推進体制は怎么样了。当てはまるものを一つお選びください。

1. 社長、会長、経営企画部門が主導
2. DX 推進専門部門が主導
3. 部門横断型プロジェクトチーム
4. IT システム部門が主導
5. 組織ごとに推進
6. 特別な推進体制はない
7. その他（具体的に：

)

Q16. 「DXに必要なスキル」をどのように確保していますか。以下のスキルの各々について最も重要な調達方法を一つお選びください。必要と思わない場合、「不要」をお選びください。

		既に社内 にあった	自社で育 成	新たに人 材採用	システムインテグ レーターなどから 調達	不要
Q16_1	プロジェクト管理	1	2	3	4	5
Q16_2	ビジネスアーキテクチャ設計	1	2	3	4	5
Q16_3	デザイン（サービス・UI・UX・グラフィック）	1	2	3	4	5
Q16_4	システム設計	1	2	3	4	5
Q16_5	プログラミング	1	2	3	4	5
Q16_6	データセキュリティ設計	1	2	3	4	5
Q16_7	データサイエンス	1	2	3	4	5
Q16_8	生成AI利活用	1	2	3	4	5
Q16_9	人工知能開発（機械学習）	1	2	3	4	5

Q17. DXのために導入した、または導入しようとしているデジタル技術は何ですか。当てはまるものを全てお選びください。

1. 生成AI
2. 機械学習
3. ビッグデータ利活用
4. RPA
5. IoT（もののインターネット）
6. クラウド
7. XaaS
8. コラボレーションツール
9. ローコード・ノーコード
10. サイバーセキュリティ
11. その他（具体的に：

)

Q18. DXに取り組む目的は何ですか。当てはまるものを全てお選びください。

1. 既存事業のプロセスを改革し、製品やサービスの生産性を高める
2. 既存事業の技術を変革し、製品やサービスの領域を拡大する
3. 既存の製品やサービスの顧客領域を拡大する
4. 今までに取り組んでいない新規事業領域に進出する
5. その他（具体的に：

)

Q19. 具体的に行っている、または行おうとしている「既存事業のプロセスを改革し、製品やサービスの生産性を高める」行動は何ですか。最も重要なものを一つお選びください。

1. 自動化・省力化
2. 意思決定のプロセス変革
3. ワークスタイル変革
4. 人材育成・熟練技術の継承
5. 在庫管理・物流最適化
6. コラボレーションやコミュニケーションの改善
7. 需要予測の精度向上
8. 品質管理の高度化
9. 業務プロセスや書類のデジタル化
10. その他（具体的に：

)

Q20. 具体的に行っている、または行おうとしている「既存事業の技術を変革し、製品やサービスの領域を拡大する」行動は何ですか。最も重要なものを一つお選びください。

1. AI（人工知能）やVR（仮想現実）、AR（拡張現実）を取り込んだ新製品・サービス
2. オンラインサービスへの進出
3. サブスクリプションモデル（定額課金）への転換・拡大
4. 親会社・子会社・関係会社をデータ連携させ、競争力のある新商品・サービスの実現
5. カスタマーエクスペリエンス（顧客価値経験）を基に、新商品・サービスの実現
6. その他（具体的に： _____)

Q21. 具体的に行っている、または行おうとしている「既存の製品やサービスの顧客領域を拡大する」行動は何ですか。最も重要なものを一つお選びください。

1. B2B（企業間取引）型のデジタルマーケティング
2. AI（人工知能）やAR（拡張現実）を活用した商品提案
3. 店頭・店内販売からデリバリー販売への進出
4. 流通業者を通さずに、ネット経由で一人一人の顧客に最適な商品やサービスを提案
5. デジタルコンシューマーやカスタマーエクスペリエンスの取り込み
6. サプライチェーンのデジタル化
7. 小規模店向けキャッシュレスシステム
8. SFA（営業支援システム）やCRM（顧客情報管理システム）、MA（Marketing Automation）などを活用した顧客接点の変革
9. メタバース（仮想空間）で製品やサービスの体験機会提供
10. その他（具体的に： _____)

Q22. DX に取り組んだ成果はいかがですか。以下の取り組む目的それぞれについて、当てはまるものを一つお選びください。

		成果が出ている	今後の成果が見込まれる	成果が出ていない
Q22_1	既存事業のプロセスを改革し、製品やサービスの生産性を高める	1	2	3
Q22_2	既存事業の技術を変革し、製品やサービスの領域を拡大する	1	2	3
Q22_3	既存の製品やサービスの顧客領域を拡大する	1	2	3
Q22_4	今までに取り組んでいない新規事業領域に進出する	1	2	3
Q22_5	その他（ _____)	1	2	3

Q23. DX への取り組み、または取り組み予定はこの1年でどう変化していますか。当てはまるものを一つお選びください。

1. 特に変わっていない
2. 取り組み、取り組み予定が早まった
3. 取り組み、取り組み予定が遅くなった

Q24. DX への取り組み、または取り組み予定がこの1年で早まった理由は何ですか。当てはまるものを全てお選びください。

1. 経営陣の旗振りがあった
2. ユーザー部門からボトムアップでの盛り上がりがあった
3. ITシステム部門の旗振りがあった
4. ITベンダーからの提案があった
5. 新聞・メディアで必要性や成功事例が取り上げられるようになった
6. 働き方改革
7. DXレポート2発表による影響があった
8. コロナ禍で業務を変革する必要性が増した
9. 同業他社・競合先が取り組んでいる
10. 法令や制度への対応
11. 生成AIの急速な普及
12. その他（具体的に： _____)

Q25. DX を推進する際の妨げは何ですか。当てはまるものを全てお選びください。

1. ブラックボックス化したレガシーシステム
2. 新しいアイデアを基に未来を描ける人材の確保
3. デジタル技術で業務プロセスに適用できる人材の確保
4. 強いリーダーシップで変革を推進できる人材の確保
5. 初期投資費用の確保
6. ネットワーク容量・セキュリティ確保
7. レガシー組織との軋轢
8. ハンコ文化（紙の書類に押印しなければ正式な承認とみなさない文化）
9. その他（具体的に：

)

Q26. DX を推進する際に、IT ベンダーに期待することは何ですか。当てはまるものを全てお選びください。

1. 会社、業務を理解した上での提案
2. 事例を含めた分かりやすい資料の提供
3. 費用対効果の明確な提案
4. 安心・安全な製品・サービスの提供
5. 製品・サービスの導入サポート・FAQ 対応
6. システムの内製開発や PoC（概念実証）への協力
7. 自社の事業を理解し、ビジネスモデル変革を共に推進する
8. IT ベンダーの体制強化、スキルアップ
9. IT ベンダーに頼らず、内製で進める予定である
10. IT ベンダーに何を相談すればよいのか分からない
11. その他（具体的に：

)

Q27. 興味を持っているデジタル技術は何ですか。当てはまるものを全てお選びください。

1. 生成 AI
2. 機械学習
3. ビッグデータ利活用
4. RPA
5. IoT（もののインターネット）
6. クラウド
7. XaaS
8. コラボレーションツール
9. ローコード・ノーコード
10. サイバーセキュリティ
11. その他（具体的に：

)